

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区魅力発信事業		中区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらうことで、区民の地域への愛着を深めてもらう。	市の伝統産業である注染製品の販売・染め体験・実演見学会を開催する。	販売会の満足度 (アンケート結果)	89%	99%	95%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 市の伝統産業である注染・和晒は、製造工場が区内に多く所在しており、区の地域資源と言える。こうした地域資源の魅力を区役所を訪れる多くの市民に発信することが、地域への愛着を深めてもらうことに寄与するため、区が事業を実施する妥当性が高い。	○ 協同組合オリセン・堺注染和晒興業会と連携し、注染製品の販売・染め体験・実演見学会を行った。	◎ 販売会は、市の伝統産業である注染・和晒の製品を実際に手にとって見てもらえる良い機会である。今回販売会に加え、染め体験・実演見学会を初めて開催した。染めの工程や職人の技術を見ていただくことで、より深く注染の魅力を感じてもらえる機会となった。	○	販売会の物品の用意や設営等は、協同組合オリセンが行い、染め体験・実演見学会での職人の報償費についても販売の売上から捻出されたことで、経費の支出を抑えつつ、一定の効果を挙げる事ができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
- 区役所を訪れる多くの区民に市の伝統産業である注染・和晒の魅力をPRするものであるため、行政が実施主体となるべき事業である。	○ 今年度は販売会と併せて染め体験・実演見学会を開催し、染めの工程や職人の技術を実際見ていただくことで、より注染の魅力を感じてもらえる機会を提供できた。また、アスマイルでのポイント付与により、中区以外の来場者や初めての来場者が増加し、注染の魅力について幅広く知っていただく機会となった。今後も、新規来場者・購買者を増やすための工夫が必要となる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
継続	今年度は染め体験・実演見学会を実施したことにより、これまでの販売会とは違った視点で注染の魅力について周知を図ることができ、イベント来場者アンケートで一定の評価を得た。今後は若年層や今まで注染・和晒について知らなかった人に魅力を伝える工夫が必要となる。その方法として、子育てイベントとの同時開催や体験内容を変えるなど集客方法を工夫し、訴求できていない層に注染・和晒の魅力を広く発信することで、伝統産業の振興に寄与していく。				